

三浦工業株式会社



《お客様への連絡事項》

【作業前後の確認事項追記】チラー：メーカー（ダイキン）型式（UWAPF-15）馬力数（15）被冷却物（ボイル野菜）冷却回数（2回/日）チラーの状態（良）

各ストレーナ清掃しました。
ドアパッキン、エアフィルタ、品温センサー交換しました。
リークチェック正常です。
到達真空度0.9kPa →正常です。
ドア周り問題ありません。

運転チェック実施
正常動作確認しました。

試運転より19年経過しています。今後は、ドア関係やチラー等の高額な修理が発生するリスクがあります。機器の更新をご検討ください。

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 / =該当なし		機番: No. JP88960718		機種: CM-150SDM		燃料:		機器名: 右1号機	
【問診】				【本体】		測定値・判定			
問診 (内容は、フリー欄に記載)				冷却槽内面 (傷・亀裂)		○			
【異常履歴確認】				冷却槽内付属品の状況		○			
異常履歴確認 (残件内容は、フリー欄に記載)				本体アソカの異常		○			
異常履歴確認 (残件の有無)		○		ドア1外レール/スロープの状況		○			
【日付:時刻】		判定		ドア2外レール/スロープの状況		○			
時刻合わせ (マイコン・記録計)		△		ケーシングの状態 (傷、歪みなど)		○			
【分解掃除】		判定		弁漏れ漏れの有無		○			
給水ストレーナ (屋外ユニット含む)		△		ドア裏洗浄実施		○			
給蒸ストレーナ		△		洗浄ガス動作確認		○			
熱交換器真空側確認 (ZMPのみ)				熱気エゼクタ動作状況		○			
吸気ストレーナ		△		P加圧電磁弁、P減圧弁動作状況		○			
【ドア部】		測定値・判定		ボールタップ動作確認		○			
		ドア1		ドア2		冷水タンク水の汚れ		○	
パッキンと溝の清掃		△				水の入替		無	
チェーンの潤滑		△				配管の水漏れ		○	
チェーン押さえ摩耗状況		○				配管の水漏れ 場所			
チェーン及び取付ボルト状況		○				漏水の確認方法		目視	
ドアレール右の状況		○				漏水の確認		○	
ドアレール左の状況		○				品温センサの状態		△	
障害物感知リード線固定確認		○				<マイコン設定値確認>			
障害物感知リード線の引掛り確認		○				ドア1 駆動回数		4,430	
障害物感知の動作確認		○				ドア2 駆動回数			
縁板アングル寸法確認		○				ROMバージョン		FA1-200	
ドア全閉位置感知LSの動作確認		○				プログラム		冷却温度	
ドア全開位置感知LSの動作確認		○				1		8°C	
ドアオーバーラン感知LSの動作確認		○				2		18°C	
LSレバーとドア梁位置確認		○				3		10°C	
縁板右の変形/取付のゆるみ確認		○				4		25°C	
縁板左の変形/取付のゆるみ確認		○				1		2	
駆動モータのブレーキ動作確認		○				タイマ設定		20分	
駆動軸のずれ確認		○				2		2	
ドアガイドローラ変形・割れの確認		○				3		10分	
上昇電流値		2.29A				4		30分	
		○				【チラー】		測定値・判定	
下降電流値		1.91A				水漏れ		無	
		○				水漏れ 場所			
サーマル値		2.90A				振動・異音		無	
		○				振動・異音 場所			
ドア開閉動作		○				外観異常		無	
パッキン出代寸法 右		66.0mm				外観異常 場所			
パッキン出代寸法 左		66.0mm				循環ポンプ型式		CM10-2	
パッキン動作確認		○				循環ポンプ吐出圧		0.40MPa	
ドアシール板		○				循環ポンプ電流値		7.2A	
ドアストッパ上		○				循環ポンプサーマル値		11.3A	
ドアストッパ下 (ゴム)		○				冷水温度監視の設定 (屋外タンクユニット)			
ドアスクレイパの確認		○				凝縮器フィンの汚れ		○	
パッキン押出圧力		0.17MPa				冷水の冷却確認		○	
パッキン引込圧力		-0.04MPa				【本体機能】		測定値・判定	
パッキンリリーフ弁設定圧力		0.20MPa				原水圧力		0.30MPa	
パッキン用真空ポンプ電流値 (両扉のみ)						給蒸圧力		0.30MPa	
パッキン用真空ポンプサーマル値 (両扉のみ)						スチームトラップの動作		○	
						封水温度/全循環のみ 切替前			
						封水温度/全循環のみ 切替後		21.0°C	
						真空リーク測定 (計測器の単位hPa, kPaによって使い分けてください。)			
						*基準値 2.7hPa/5分以下または、0.6kPa/11分以下			
						リーク測定 1回目 測定値hPa/5分			
						リーク測定 1回目 測定値kPa/11分		4.1kPa	
						リーク測定 1回目 測定値判定		○	
						リーク測定 補修後 測定値hPa/5分			
						リーク測定 補修後 測定値kPa/11分			
						リーク測定 補修後 測定値判定			

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 / =該当なし				
機番: No. JP88960718		機種: CM-150SDM		燃料:
調節計圧力校正[hPa]		表示値	基準器値	補正值
校正前				
校正後				
品温校正[℃]		表示値	基準器値	補正值
校正前		10.0	10.4	-0.5
校正後				
<真空ポンプ>				
能力 ~400hPa		66秒		
電流値		6.5A		
サーマル値		10.9A		
<フィルタ>				
汚れ状況		△		
真空解除時間		62秒		
【運転確認】		測定値		
<冷却確認>				
冷却物		お湯		
試験重量		2.0kg		
初期温度		34.0℃		
冷却設定温度		8.0℃		
終了温度		8.0℃		
今回の冷却時間		413秒		
【洗浄確認】				
洗浄指導 (ZMPのみ) 立会い者				

御得意様名: 廿日市学校給食センター 様				機種: CM-150SDM		燃料:					
住所: 広島県廿日市市宮内工業団地 1-6-3				機番: JP88960719							
No: 342130061		保守契約区分: SP		試運転日: 2005年03月31日		点検記号: 0					
管理拠点名: テクノ広島M		コード: 54346		担当者名:		コード: 58403					
出向日: 2024年08月21日 (水曜日)		請求先コード: 請求先:		支払条件:		月 日 締め 月 日 支払					
時間: 09:00 ~											
No. 品名規格		コード No.		ロット No.		売上原価 区分		数 量		金 額	
1 点検料金 CM-150SDM		S00000000000044 ()				421		1 式			
2 ドアパッキン CM(G)-150SM L=4547 98%		F009-710-1830-0 ()				411		1 個			
3 エアフィルタ 250L-SRL-030R1		0000-AL9-3772-0 ()				411		1 個			
4 熱電対キット T DIA4.0 L=100/4000 シングル		K069-900-2010-7 ()				411		1 個			
5 コンプレッションフィッティング R1/2 シリコンゴム パッキン付き C1701610		0000-AL7-0690-0 ()				411		1 個			
6 以下空欄											
7											
8											
本日の1, 2, 3, 4, 5の料金は有償です。 ※弊社勤務時間 (8時30分~17時30分) 外及び 休・祝日の基本料金、技術料金は割増となります。						小 計					
						消費 税 等					
						合 計					
作業前確認事項: 'バルブ' (水 (開) 蒸気 (開)) 電源 (ON)											
●お客様への依頼事項											
○印は、重要項目ですので遵守してください。(機種により該当しない項目があります。また、お客様の使用状況に応じて変更のあることをご了承ください。)											
1. 装置内、ドア内面の掃除を [8時] 間毎に確実に行ってください。槽内の 5. チラーが凍結のおそれがある場合は、外気温度を感知して自動で循環ポンプが凍結防止運転を行います。停止中もチラーのブレーカは、切らないでください。 (取扱説明書を参照ください。)											
2. 自動ドアの潤滑は [6ヶ月] 毎に行ってください。 (取扱説明書を参照ください。)											
3. 自動ドア稼働部の消耗品は、定期的に交換が必要です。定期的に弊社の点検を 6. 装置付近の整理整頓を行ってください。 お願いいたします。											
4. 真空ポンプ、CT循環ポンプ、クーリングタワーが凍結のおそれがある場合は、 各取扱説明書に従って水抜き等の処置を取ってください。											
●お客様への伝達事項											
1. 食材への使用前後に、品温センサに異常 (破損、欠損) がないことを確認してください。異常があった場合は、調理物内に破片が混入しているおそれがあります。ただちに使用を停止してください。また、食材への混入がないか確認してください。品温センサに傷や割損、曲がり、亀裂が確認された場合は、ただちに使用を停止し、新しいものに交換してください。そのまま使用するとセンサ部品の破損、欠損により、食材へ混入するおそれがあります。											
2. 装置の取り扱いで不明な場合には、取扱説明書をご参照のうえ、正しくご使用ください。											
3. 装置は、取扱説明を受けた方が操作してください。											
4. 真空冷却機本体にてアラームが発生した場合は、取扱説明書に従ってリセットを行ってください。リセットを行ってもアラーム解除できない場合は、アラーム名を控えて、弊社営業所までご連絡ください。											
5. 保証期間、修理等についてご不明の場合は、弊社にお問い合わせください。											
6. 何か不明な点がございましたら、弊社にお問い合わせください。											
【安全に関する注意事項】											
① 真空冷却機内が真空になります。危険性を十分理解した方が使用してください。											
② ドア裏洗浄は正しい方法にて行ってください。槽内に入ってドアを閉める場合、ドアが全閉とならないような処置 (外レールやドアストッパ) を行ってください。											
③ ドアの手動操作方法を正しく理解し、工具等は管理してください。必要な時に使用できるように保管してください。											
④ 危険性、安全機能、各種方法を十分理解し、使用者への継続教育を行ってください。											
<次ページ以降にお客様への報告事項があります。>											
産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類 金属くず 数量: 一式											
作業後確認事項: 'バルブ' (水 (開) 蒸気 (開)) 電源 (ON) 設定復帰 (済)											
使用計測器 管理No.											
次回点検予定月 2025年08月です。											
No.						お客様ご確認立ち会い (有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>)					
検 印		検 印		承認		インプット印		点検入力印		ご確認 <input type="checkbox"/>	
										ご承認日 2024 年 8 月 21 日	
										ご承認 <input type="checkbox"/>	

《お客様への連絡事項》

【作業前後の確認事項追記】チラー：メーカー（ダイキン）型式（UWAPF-15）馬力数（15）被冷却物（ボイル野菜）冷却回数（2回/日）チラーの状態（良）

各ストレーナ清掃しました。
ドアパッキン、エアフィルタ、品温センサー交換しました。
リークチェック正常です。
到達真空度1.0kPa →正常です。
ドア周り問題ありません。

運転チェック実施

試運転より19年経過しています。今後は、ドア関係やチラー等の高額な修理が発生するリスクがあります。機器の更新をご検討ください。

判定： ○=正常 △=処理済 ×=未処理 /=-該当なし						
機番： No. JP88960719		機種： CM-150SDM		燃料：		
【問診】		【本体】			測定値・判定	
問診（内容は、フリー欄に記載）		冷却槽内面（傷・亀裂）			○	
【異常履歴確認】		冷却槽内付属品の状況			○	
異常履歴確認（残件内容は、フリー欄に記載）		本体アノカの異常			○	
異常履歴確認（残件の有無）		○	ドア1外レール/スロープの状況		○	
【日付：時刻】		判定	ドア2外レール/スロープの状況		○	
時刻合わせ（マイコン・記録計）		○	ケーシングの状態（傷、歪みなど）		○	
【分解掃除】		判定	弁越し漏れの有無		○	
給水ストレーナ（屋外ユニット含む）		△	ドア裏洗浄実施		○	
給蒸ストレーナ		△	洗浄ガン動作確認		○	
熱交換器真空側確認（ZMPのみ）		△	蒸気エゼクタ作動状況		○	
吸気ストレーナ		△	P加圧電磁弁、P減圧弁作動状況		○	
【ドア部】		測定値・判定			ボールタップ作動確認	○
	ドア1	ドア2	冷水タンク水の汚れ		○	
バックインと溝の清掃	○		水の入替		無	
チェーンの潤滑	○		配管の水濡れ		○	
チェーン押さえ摩耗状況	○		配管の水濡れ 場所		/	
チェーン及び取付ボルト状況	○		漏水の確認方法		目視	
ドアシール右の状況	○		漏水の確認		○	
ドアシール左の状況	○		品温センサの状態		△	
障害物感知リード線固定確認	○		<マイコン設定値確認>			
障害物感知リード線の引掛り確認	○		ドア1 駆動回数	4,548		
障害物感知の動作確認	○		ドア2 駆動回数	/		
縁板アングル寸法確認	○		ROMバージョン	FA1-200		
ドア全閉位置感知LSの作動確認	○		プログラム	冷却温度	徐冷	
ドア全開位置感知LSの作動確認	○		1	8℃	なし	
ドアオーバラン感知LSの作動確認	○		2	18℃	なし	
LSレバーとドア梁位置確認	○		3	10℃	2	
縁板右の変形・取付のゆりみ確認	○		4	25℃	1	
縁板左の変形・取付のゆりみ確認	○				タイマ設定	
駆動モータのブレーキ作動確認	○				20分	
駆動軸のずれ確認	○				20分	
ドアガイドローラ変形・割れの確認	○				10分	
上昇電流値	2.20A				30分	
	○					
下降電流値	1.89A					
	○					
サーマル値	2.90A					
	○					
ドア開閉動作	○					
バックイン出代寸法 右	66.0mm					
バックイン出代寸法 左	65.0mm					
バックイン動作確認	○					
ドアシール板	○					
ドアストップ上	○					
ドアストップ下（ゴム）	○					
ドアスクレイパの確認	○					
バックイン押出圧力	0.17MPa					
バックイン引込圧力	0.04MPa					
バックインリリース弁設定圧力	0.20MPa					
バックイン用真空ポンプ電流値（両扉のみ）						
バックイン用真空ポンプサーマル値（両扉のみ）						
				【チラー】	測定値・判定	
				水濡れ	無	
				水濡れ 場所	/	
				振動・異音	無	
				振動・異音 場所	/	
				外観異常	無	
				外観異常 場所	/	
				循環ポンプ型式	/	
				循環ポンプ吐出圧	0.40MPa ○	
				循環ポンプ電流値	9.2A ○	
				循環ポンプサーマル値	11.5A ○	
				冷水温度警報の設定（屋外タンクユニット）	/	
				凝縮器フィンの汚れ	○	
				冷水の冷却確認	○	
				【本体機能】	測定値・判定	
				原水圧力	0.30MPa	
				給蒸圧力	0.30MPa	
				スチームトラップの動作	○	
				封水温度/全循環のみ 切替前	/	
				封水温度/全循環のみ 切替後	13.1℃ ○	
				真空リーク測定（計測器の単位hPa、kPaによって使い分けてください。）		
				*基準値 2.7hPa/5分以下または、0.6kPa/11分以下		
				リーク測定 1回目 測定値hPa/5分	/	
				リーク測定 1回目 測定値kPa/11分	3.9kPa	
				リーク測定 1回目 測定値判定	○	
				リーク測定 補修後 測定値hPa/5分	/	
				リーク測定 補修後 測定値kPa/11分	/	
				リーク測定 補修後 測定値判定	/	

判定: ○=正常 △=処理済 ×=未処理 / =該当なし				
機番: No. JP88960719		機種: CM-150SDM		燃料:
調節計圧力校正[hPa]	表示値	基準器値	補正値	判定
校正前				
校正後				
品温校正[℃]	表示値	基準器値	補正値	
校正前	8.0	8.4	2.0	
校正後				
<真空ポンプ>				
能力 ~400hPa	64秒 ○			
電流値	7.3A ○			
サーマル値	10.5A ○			
<フィルタ>				
汚れ状況	△			
真空解除時間	57秒			
【運転確認】	測定値			
<冷却確認>				
冷却物	お湯			
試験重量	2.0kg			
初期温度	35.0℃			
冷却設定温度	8.0℃			
終了温度	8.0℃			
今回の冷却時間	401秒			
【洗浄確認】				
洗浄指導 (ZMPのみ) 立会い者				